

公益財団法人実務技能検定協会 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I 事業の実施状況

本協会は、定款第3条および第4条に基づき、ビジネス実務に関する技能検定の実施により、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、および職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

【公益目的事業（公1）】

1 技能検定の実施

(1) 受験者の受験機会を増やし、慢性的な試験会場不足等を解消することを目的に、令和3年3月1日から「秘書技能検定C B T」試験を開始した（「令和2年度技能審査実施状況表」参照）。

(2) 令和2年度における秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能、サービス接遇実務およびビジネス電話実務の計5種目の技能検定は、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応のため、6月期の検定を全て中止とし、11月期および翌年2月期（秘書技能・サービス接遇実務）の試験のみを実施した（「令和2年度技能審査実施状況表」参照）。その結果、秘書技能検定C B Tを含めた志願者合計は147,559名となり、前年度比27.2%減（55,047名減）であった。

なお、新型コロナウイルスへの対応により令和3年度に受験を持ち越した志願者数は、秘書97名、ビジネス文書17名、ビジネス実務マナー6名、サービス57名（計177名）であった。

2 ビジネス電話実務検定の廃止およびビジネス実務マナー技能検定のリニューアル

(1) 第32回検定（令和元年11月24日実施）知識A級合格者の救済措置として、「実践級」を1年間延長して実施した（実践級は知識A級合格が受験資格のため）。

(2) ビジネス電話実務検定の内容を出題領域として取り入れた「(リニューアル) ビジネス実務マナー技能検定」を実施した。

3 研究会・講習会の開催

(1) 秘書ビジネス実務教育担当者地方研究会

ビジネス系検定の普及・振興を目的として、ビジネス実務教育の担当初任者に対する検定指導法等についての研究会を、10月9日（金）・10日（土）、北海道地区、関東地区、新潟・北陸地区、中四国地区、九州地区を対象に「オンライン」で実施した。参加者は2日間合計で48名であった（5月に開催予定であった東北地区、沖縄地区、関西地区、東海地区は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした）。

(2) 秘書・サービス接遇準1級面接試験実施担当者地区別研修会

秘書技能検定およびサービス接遇実務検定準1級面接試験実施担当者の能力保持を目的に、「オンライン」で研修会を実施した（2/27東海地区、3/6中四国地区、3/20関西地区、3/28九州地区を対象）。参加者合計は秘書検定95名、サービス接遇検定95名であった。

なお、令和2年度分として、6/20に関東地区を対象にオンラインで開催する。

4 成績優秀者および成績優秀団体の表彰

(1) 6月期検定を中止したため、受賞者・受賞団体は11月期検定から選定した。（ビジネス電話実務検定は、「実践級」のみ実施のため団体の表彰は行わなかった）。

(2) 令和2年度成績優秀者・優秀団体表彰式は、令和3年3月12日、アルカディア市ヶ谷（新宿区）において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度同様開催を見合わせた（賞状・副賞は全件郵送した）。

各検定の表彰数

(個人)

検 定	文部科学大臣賞	優 秀 賞	日本秘書クラブ会長賞
秘書	1	26	20
ビジネス文書	1	16	10
ビジネス実務マナー	1	10	6
サービス接遇	1	45	10
ビジネス電話	1	3	6
合 計	5	100	52

(団体)

検 定	文部科学大臣賞	団体優秀賞	感謝状贈呈
秘書	3	3 3	6 0
ビジネス文書	3	4	9
ビジネス実務マナー	3	3	4
サービス接遇	3	1 5	2 6
ビジネス電話	—	—	—
合 計	1 2	5 5	9 9

【収益事業（収1）】

以下の通り、実務技能検定に関する問題著作権の提供等を行った。

- (1) 早稲田教育出版に対し、ビジネス系検定実問題著作権の提供およびビジネス系検定受験参考書の監修を行った。
- (2) ㈱ユーキャンに対し、秘書検定実問題1回分およびサービス接遇検定実問題1回分の著作権を提供した。

以上